

## 金 融 動 向

### ◇銀行貸出金利は引続き低下

(金融市場——資金余剰幅は前年を上回る)

1月の金融市場をみると、銀行券は、前年末休日に伴う越年残高どまりの反動から34,245億円の還収超と前年(同25,287億円)を大幅に上回った。一方財政資金は、一般財政の揚超幅が租税の受入れ増加等から前年を上回ったうえ、外為会計も前年比様変りの揚超となったため、全体では26,643億円の揚超と前年(同24,308億円)に比べ受超幅を拡大した。この結果、「その他」勘定(揚超188億円、前年同626億円)を合わせた月中資金余剰額は7,414億円と前年(同353億円)を大幅に上回り、日本銀行は準備預金の積増し(5,721億円)と貸出の回収によって調節した。

この間、1月の短期金融市場の動向をみると、無条件物コールレート(出し手レート)は、上・中

旬中銀行券の大幅還流から放資が増大し9日、17日に通算0.25%低下したが、月末にかけて市場の需給が引締まり気味となったため、23日、25日、30日に通算0.375%上昇、結局月末水準は4.50%と前月末を0.125%上回って越月した。なお、更月後4日には、銀行券の還流から0.125%低下した。また、7日物コールの中心レートは月初来無条件物よりも幾分高めに推移したが、月末には無条件物と同水準となった。

一方、手形売買レート(二山越え)は、24日に0.125%上昇した(月末、買い手レート4.625%)が、更月後7日に0.125%低下した。また、1ヵ月手形レートは、月中を通じ二山越え手形レートを幾分下回る水準で推移した(月末、買い手レート4.5625%)。

(通貨——銀行券の伸びは再び12%台)

1月の銀行券平均残高の前年同月比は、+12.3%と前月(+11.1%)比上昇し、季節調整後前月比も+2.2%と高い伸びを示した(12月+0.0%、11月+1.2%)。これには、前年末休日に伴う越年残高の高水準が影響したものと思われる。

12月の狭義マネーサプライ(M<sub>1</sub>平残、現金通貨+預金通貨)の前年同月比は、+10.8%と前月(+11.4%)比低下した。これは現金通貨が年末賞与の伸び低調を映じ+11.1%と前月(+12.0%)比低下し、また預金通貨も決算・賞与資金の流出等から+10.7%と前月(+11.3%)の伸びを下回った

### 銀行券の動き

(単位・%)

|           | 前年同期(月)比   |            | 季節調整済み<br>前期(月)比 |            |
|-----------|------------|------------|------------------|------------|
|           | 月 末<br>発行高 | 平 均<br>発行高 | 月 末<br>発行高       | 平 均<br>発行高 |
| 53年1～3月平均 | 7.8        | 8.3        | 2.1              | 2.4        |
| 4～6 〃     | 8.5        | 9.5        | 2.3              | 2.9        |
| 7～9 〃     | 10.1       | 9.9        | 3.4              | 2.6        |
| 10～12 〃   | 12.6       | 11.4       | 4.0              | 3.0        |
| 53年10月    | 10.9       | 11.2       | 0.7              | 1.0        |
| 11 〃      | 11.5       | 12.0       | 0.9              | 1.2        |
| 12 〃      | 14.7       | 11.1       | 3.8              | 0.0        |
| 54年1月     | 10.7       | 12.3       | △3.1             | 2.2        |

(注) 季節調整はセンサス局法による。

### 資金需給実績

(単位・億円)

|           | 53 年    | 54 年     |          |
|-----------|---------|----------|----------|
|           | 12 月    | 1 月      | 前年同月     |
| 銀 行 券     | 38,365  | △ 34,245 | △ 25,287 |
| 財 政 資 金   | 1,068   | △ 26,643 | △ 24,308 |
| そ の 他     | △ 328   | △ 188    | △ 626    |
| 資 金 過 不 足 | 37,625  | △ 7,414  | △ 353    |
| 準 備 預 金   | 9,407   | △ 5,721  | △ 755    |
| 本 行 信 用   | 28,218  | △ 1,693  | 402      |
| うち 貸 出    | 8,032   | △ 1,693  | 402      |
| 債 券 売 買   | 7,186   | —        | —        |
| 買 入 手 形   | 13,000  | —        | —        |
| 銀行券発行残高   | 177,093 | 142,848  | 129,093  |
| 準備預金残高    | 15,360  | 21,081   | 13,463   |
| 本行貸出残高    | 26,679  | 24,986   | 22,716   |
| 本行買入手形残高  | 28,500  | 28,500   | 30,000   |

(注) △印…「銀行券」は還収超、「財政資金」は揚超、「その他」は揚超、「資金過不足」は資金余剰、「準備預金」は積増し、「本行信用」は信用縮小。

ことによるものである。一方定期性預金は +13.1%と3か月連続の上昇を示し、この結果12月のM<sub>2</sub>平残(M<sub>1</sub>+定期性預金)の前年同月比は +12.2%(前月+12.3%)となり、10~12月通計では+12.2%と7~9月(+12.1%)比やや伸びを高めた。

12月のM<sub>2</sub>末残前年比伸び率は +13.1%と前月(+12.4%)を大幅に上回ったが、これには月末休日に伴う預金高どまりの影響があり、実勢は前月並みの伸びとみられる。これを金融機関の信用供与面からみると、対民間信用の寄与度は上記月末休日要因を映じ前月比大幅に上昇した。この間、対外資産の寄与度は低下傾向を続け、対政府信用の寄与度は高水準を持続した。

一方、12月のM<sub>1</sub>、M<sub>3</sub>(ともに末残ベース)の前年比伸び率をみると、M<sub>1</sub>'は上記月末休日に伴う法人預金通貨の高どまりを映じ+12.4%と前月(+11.3%)を大幅に上回ったが、M<sub>3</sub>は+14.0%と前月(+13.7%)比小幅の上昇にとどまった。

なお、12月の預金通貨回転率指標(季節調整済

### 通貨関連指標の動き

|         | 平均残高<br>前年同期(月)比     |          |      |           |   |                  | 〈参考〉<br>(末 残<br>前年同期(月)<br>比) |      | 預金通貨<br>回転率指標<br><br>鉱工業出<br>荷額水準<br><br>預金通貨<br>平 残<br>(季節調<br>整済み) |
|---------|----------------------|----------|------|-----------|---|------------------|-------------------------------|------|--|
|         | 通 貨(M <sub>1</sub> ) |          |      | 定期性<br>預金 | 通貨<br>+<br>定期性<br>預金<br>(M <sub>2</sub> ) | M <sub>1</sub> ' | M <sub>3</sub>                |      |  |
|         | 現金<br>通貨             | 預金<br>通貨 | %    |           |   |                  |                               |      |  |
|         |                      |          |      |           |   |                  |                               | %    |  |
| 53年     | %                    | %        | %    | %         | %   | %                | %                             |      |  |
| 1～3月平均  | 7.3                  | 8.4      | 7.0  | 12.8      | 10.8                                      | 8.3              | 13.1                          | 2.78 |  |
| 4～6 〃   | 10.1                 | 9.7      | 10.2 | 12.8      | 11.8                                      | 10.7             | 14.1                          | 2.79 |  |
| 7～9 〃   | 11.6                 | 10.0     | 12.0 | 12.5      | 12.1                                      | 10.9             | 13.6                          | 2.69 |  |
| 10～12 〃 | 11.2                 | 11.3     | 11.2 | 12.8      | 12.2                                      | 11.8             | 13.8                          | 2.59 |  |
| 53年9月   | 11.7                 | 10.2     | 12.1 | 12.2      | 12.0                                      | 12.2             | 13.8                          | 2.66 |  |
| 10 〃    | 11.5                 | 10.8     | 11.7 | 12.5      | 12.1                                      | 11.4             | 13.7                          | 2.62 |  |
| 11 〃    | 11.4                 | 12.0     | 11.3 | 12.8      | 12.3                                      | 11.3             | 13.7                          | 2.59 |  |
| 12 〃    | 10.8                 | 11.1     | 10.7 | 13.1      | 12.2                                      | 12.4             | 14.0                          | 2.57 |  |

(注) 1. 平均残高各項およびM<sub>1</sub>'末残は一部日本銀行統計局推計による。

2. 預金通貨回転率指標の鉱工業出荷額水準には、3か月前の〔鉱工業出荷指数(季節調整済み)×卸売物価指数(総平均)〕×100の3か月移動平均値を使用。

3. M<sub>1</sub>'=M<sub>1</sub>+法人準通貨

M<sub>2</sub>=M<sub>1</sub>+準通貨

M<sub>3</sub>=M<sub>2</sub>+郵便局、農協、漁協、信用組合、労働金庫の預貯金+信託(金銭信託、貸付信託)

ただしM<sub>3</sub>の53年9月以降の計数およびM<sub>1</sub>'の12月計数は速報。

み)は、2.57(前月2.59)と8か月連続低下した。

### (財政資金——揚超幅は前年を上回る)

1月の財政資金対民間収支をみると、一般財政の揚超幅は19,293億円と前年(同18,843億円)をやや上回った。これは、社会保障費等の支払が増加したものの、源泉所得税や法人税の高伸を中心に租税の受入れが前年を上回ったほか、資金運用部の地方公共団体等に対する貸出が低調であったことなどによるものである。

一方、新規中・長期国債の発行は6,590億円と、52年10月以来15か月ぶりに前年(7,447億円)を下回った。この間、外為会計は外為証券の公募増から前年比様変りの760億円の揚超となった(前年払

### 財政資金対民間収支実績

(単位・億円)

|                 | 54年1月    | 前年同月     | 前年比     |
|-----------------|----------|----------|---------|
| 一 般 財 政         | △ 19,293 | △ 18,843 | △ 450   |
| 純 一 般           | △ 20,626 | △ 20,193 | △ 433   |
| 租 税             | △ 18,825 | △ 15,142 | △ 3,683 |
| 社 会 保 障         | 3,285    | 2,530    | 755     |
| 防 衛 関 係 費       | 934      | 830      | 104     |
| 公共事業関係費         | 1,765    | 1,374    | 391     |
| 交 付 金           | 18       | 31       | △ 13    |
| 義 務 教 育 費       | 936      | 867      | 69      |
| 一般会計諸払          | 2,252    | 1,972    | 280     |
| 資 金 運 用 部       | 475      | 1,560    | △ 1,085 |
| 保 険             | △ 3,224  | △ 2,775  | △ 449   |
| 郵 便 局           | △ 7,535  | △ 8,074  | 539     |
| 国 鉄             | △ 489    | △ 28     | △ 461   |
| 電 電             | △ 1,053  | △ 1,468  | 415     |
| 金 融 公 庫         | 361      | 264      | 97      |
| 食 管             | △ 1,081  | △ 594    | △ 487   |
| 代 預             | 2,414    | 1,944    | 470     |
| 新 規 中 ・ 長 期 国 債 | △ 6,590  | △ 7,447  | 857     |
| 発 行             | △ 6,591  | △ 7,447  | 856     |
| 償 還             | 1        | —        | 1       |
| 外 為             | △ 760    | 1,982    | △ 2,742 |
| 総 収 支 じ り       | △ 26,643 | △ 24,308 | △ 2,335 |

(注) △印は揚超。

超1,982億円)。

以上の結果、総収支じりでは 26,643億円の揚超と前年(同 24,308億円)を上回った。

(外国為替市場——米ドル直物相場は200円台を回復)

1月の外国為替市場をみると、インターバンク米ドル直物相場(クロージング)は、月末にかけて200円台を回復し月中6円30銭の円安となった。すなわち、上・中旬中は、海外ドル相場が落ち着いた動きを続けた一方、邦銀の輸出予約伸長等に伴うドル売りと輸入決済手当買い等が見合っており、おおむね196～197円台の小動きで推移した。その後下旬に入ると、米国商務省の本年の貿易収支改善見通し等を材料に海外ドル相場が上昇したほか、円建外債や円建シンジケートローンのドル転換実施等もあってジリ高傾向をたどり、30日に200円台を回復し201円40銭で越月した(前月末195円10銭)。

一方、先物相場は、非居住者自由円債務の増加

額に対する金準備率の引下げ(100→50%)や非居住者の債券取得規制緩和等を背景に直売先買の動きが強まり直物比堅調に推移したため、ディスカウント幅(3ヵ月先物年率)は、月中はほぼ一貫して縮小し月末には7%台まで低下した(12月末10.866%→1月末7.745%)。

(貸出——月末休日に伴う高どまりから著増)

12月の全国銀行(銀行勘定)貸出は、月中37,051億円増と前年(25,280億円増)を5割近く上回り、月末残高の前年比伸び率も+10.5%と前月(+9.7%)比かなり上昇した。もっとも、当月の貸出増加には月末休日による貸出高どまりが影響しており、これを調整した実勢では前年比1割程度の増加とみられる。

また、12月の中小企業金融機関の貸出(相互銀行は融資量)も、同様の事情から相互銀行、信用金庫いずれも前年を6割程度上回る増加を示し、月末残高の前年比伸び率も前月をかなり上回った。

この間、企業の資金需要動向をみると、中堅・中小企業筋で底堅さを加えつつあるものの大企業では依然鎮静基調を続けている。すなわち、中堅・中小企業筋においては卸・小売、建設、不動産、サービス等非製造業での設備・増運需資が根強い動きを続けているほか、このところ公共事業関連等メーカー筋の増運需資も増加気味となっている。しかし、大企業筋では電力の設備資金、造船の後向き資金がみられる程度であり、大方の先では金融収支改善のために引続き借入抑制姿勢を続けている。特に更年後、大口融資規制との関係で商社が借入返済のテンポを速めているのが目立っている。

こうした状況下、各金融機関の融資態度をうかがうと、資金需要が相対的に強い中堅・中小非製造業向け貸出の増大に一段と注力しているほか個人向け貸出にも積極的な取組姿勢を示している。この間、長期信用銀行を中心に海外向け円建て中長期ローンの伸長を図る動きも強まっている。

インターバンク米ドル直物相場(クロージング)

|              | 直物相場<br>(月・旬末) | スミソニ<br>アンレー<br>ト比(IM<br>F方式) | 直先(3ヵ月)<br>スプレッド<br>(年率・<br>月旬末) | 1日平均出来<br>高直先合計<br>(カッコ内は<br>うち先物) |
|--------------|----------------|-------------------------------|----------------------------------|------------------------------------|
|              | 円              | %                             | %                                | 百万ドル                               |
| 48年<br>2月14日 | * 271.20       | 13.57                         | **d 9.33                         | 53(50)                             |
| 3月19日        | * 264.10       | 16.62                         | **d 10.60                        | 199(50)                            |
| 49年<br>1月23日 | * 300.00       | 2.67                          | **p 24.00                        | 866(124)                           |
| 53年 6月       | 204.50         | -50.61                        | d 5.574                          | 651(119)                           |
| 7月           | 190.80         | -61.43                        | d 6.394                          | 668(119)                           |
| 8月           | 190.00         | -62.11                        | d 6.000                          | 727(145)                           |
| 9月           | 189.15         | -62.83                        | d 6.661                          | 662(156)                           |
| 10月          | 176.05         | -74.95                        | d 8.293                          | 702(110)                           |
| 11月          | 197.80         | -55.71                        | d 10.212                         | 679(163)                           |
| 12月          | 195.10         | -57.87                        | d 10.866                         | 664(167)                           |
| 54年 1月       | 201.40         | -52.92                        | d 7.745                          | 599(168)                           |
| 1月上旬         | 197.00         | -56.34                        | d 9.949                          | 579(167)                           |
| 中月           | 197.65         | -55.83                        | d 9.208                          | 582(153)                           |
| 下旬           | 201.40         | -52.92                        | d 7.745                          | 625(179)                           |

(注) 1. 基準相場比欄の+は円安(ドル高)、-は円高(ドル安)を表す。

2. 直先スプレッド欄のdはディスカウント、pはプレミアムを表す。

3. \*中心相場、\*\*先物中心相場比。

4. 53年6月以降の直先スプレッドは実勢値。

## 金融機関実質預金・貸出状況

(単位・億円)

|             |                      | 実 質 預 金 |           |        |           | 貸 出    |        |        |        |
|-------------|----------------------|---------|-----------|--------|-----------|--------|--------|--------|--------|
|             |                      | 53 年    |           | 53 年   |           | 53 年   |        | 53 年   |        |
|             |                      | 7～9月    | 10～12月    | 11 月   | 12 月      | 7～9月   | 10～12月 | 11 月   | 12 月   |
| 全 国 銀 行     | 増 減 額(末 残)           | 28,086  | 41,166    | 42,620 | 14,789    | 30,684 | 52,098 | 14,925 | 37,051 |
|             | 前 年 比 増 減 率(%)       | + 17.3  | - 5.9     | + 14.1 | - 14.1    | + 17.4 | + 43.2 | + 68.2 | + 46.6 |
|             | 残 高 の 前 年 同 期(月)比(%) | + 14.1  | + 13.4    | + 13.6 | + 13.1    | + 9.0  | + 9.8  | + 9.7  | + 10.5 |
|             | 季調済み残高の前期(月)比(%)     | + 3.5   | + 2.3     | + 1.6  | + 0.1     | + 2.0  | + 2.8  | + 1.3  | + 1.6  |
| 都 市 銀 行     | 増 減 額(末 残)           | 9,690   | 23,316    | 17,689 | 6,462     | 11,185 | 22,697 | 8,203  | 15,053 |
|             | 前 年 比 増 減 率(%)       | + 18.6  | - 13.3    | + 8.6  | - 21.6    | + 12.7 | + 38.7 | + 80.5 | + 40.6 |
|             | 残 高 の 前 年 同 期(月)比(%) | + 14.9  | + 13.5    | + 13.6 | + 13.1    | + 8.7  | + 9.1  | + 9.1  | + 9.7  |
|             | 季調済み残高の前期(月)比(%)     | + 3.5   | + 2.1     | + 1.2  | + 0.4     | + 2.1  | + 2.3  | + 1.4  | + 1.2  |
| 地 方 銀 行     | 増 減 額(末 残)           | 19,051  | 18,154    | 23,176 | 10,862    | 16,650 | 23,111 | 4,867  | 19,731 |
|             | 前 年 比 増 減 率(%)       | + 24.9  | + 26.3    | + 43.8 | - 4.3     | + 29.8 | + 57.8 | + 76.5 | + 56.7 |
|             | 残 高 の 前 年 同 期(月)比(%) | + 13.7  | + 14.6    | + 15.2 | + 14.6    | + 9.6  | + 11.3 | + 10.9 | + 12.6 |
|             | 季調済み残高の前期(月)比(%)     | + 4.0   | + 2.6     | + 2.3  | + 0.1     | + 1.7  | + 3.7  | + 1.3  | + 2.9  |
| 長 期 信 用 銀 行 | 増 減 額(末 残)           | - 182   | - 541     | 17     | - 1,753   | 2,032  | 3,334  | 776    | 1,053  |
|             | 前 年 比 増 減 率(%)       | (- 531) | (- 1,955) | - 99.4 | (- 1,992) | - 12.8 | - 8.8  | - 28.2 | - 13.7 |
|             | 残 高 の 前 年 同 期(月)比(%) | + 10.8  | + 3.9     | - 0.3  | + 0.6     | + 7.9  | + 7.7  | + 7.7  | + 7.5  |
|             | 季調済み残高の前期(月)比(%)     | + 2.8   | - 0.5     | - 1.7  | - 2.3     | + 1.7  | + 2.1  | + 0.5  | + 0.6  |
| 相 互 銀 行     | 増 減 額(末 残)           | 8,017   | 14,000    | 3,910  | 14,205    | 7,679  | 10,310 | 2,691  | 7,755  |
|             | 前 年 比 増 減 率(%)       | + 38.2  | + 15.5    | + 4.7  | + 30.2    | + 38.5 | + 63.7 | + 56.0 | + 62.6 |
|             | 残 高 の 前 年 同 期(月)比(%) | + 12.9  | + 13.1    | + 12.7 | + 13.7    | + 11.7 | + 13.6 | + 13.2 | + 14.7 |
|             | 季調済み残高の前期(月)比(%)     | + 3.2   | + 3.3     | + 1.1  | + 2.0     | + 2.8  | + 4.4  | + 1.6  | + 2.7  |
| 信 用 金 庫     | 増 減 額(末 残)           | 8,496   | 18,642    | 3,325  | 15,453    | 7,836  | 12,533 | 2,336  | 10,044 |
|             | 前 年 比 増 減 率(%)       | + 23.8  | + 33.6    | + 31.6 | + 27.6    | + 45.3 | + 90.5 | 2.4倍   | + 60.9 |
|             | 残 高 の 前 年 同 期(月)比(%) | + 11.7  | + 12.7    | + 12.5 | + 13.2    | + 7.4  | + 9.6  | + 9.2  | + 10.9 |
|             | 季調済み残高の前期(月)比(%)     | + 2.7   | + 2.9     | + 0.9  | + 1.6     | + 2.1  | + 2.7  | + 0.9  | + 1.8  |

(注) 1. 前年比増減率のカッコ内は前年の実数。

2. 53年12月は速報値。

## (預金、ポジション——公金預金の取崩し進む)

12月の全国銀行の実質預金は、月中14,789億円増と前年(17,223億円増)を1割強下回り(月末休日に伴う預金高どまりを考慮した実勢では前年比落込み幅はさらに拡大)、月末残高の前年比伸び率も+13.1%と前月(+13.6%)比低下した。これは、①公共工事代金の支払進捗を映じた公金預金の取崩し増加(都市銀行、地方銀行)のほか②前月一部にみられた周年・台乗せ運動に伴う預金増のはく落(地方銀行)等の影響によるものである。

一方、12月の中小企業金融機関の実質預金(相

互銀行は実質資金量)増加額をみると、相互銀行、信用金庫とも上記月末休日の影響から前年を3割程度上回り、月末残高の前年比伸び率も上昇した。

12月の全国銀行(銀行勘定)の資金ポジションは上記預貸事情に加え国債を中心とした有価証券投資の増加から月中19,572億円の悪化と悪化幅は前年(14,589億円の悪化)比拡大した。業態別には都市銀行が2,187億円の悪化と前年(7,422億円の悪化)比悪化幅が縮小したのに対して、地方銀行は既往最大の悪化となった(15,106億円の悪化、前

## 金融機関ポジション動向

(単位・億円)

|                            |      | 53年                  |                       | 53年                  |                       |
|----------------------------|------|----------------------|-----------------------|----------------------|-----------------------|
|                            |      | 7～9月                 | 10～12月                | 11月                  | 12月                   |
| 残<br>高<br>期<br>・<br>月<br>末 | 全国銀行 | △77,716<br>(△83,622) | △98,910<br>(△90,537)  | △79,338<br>(△75,948) | △98,910<br>(△90,537)  |
|                            | 都市銀行 | △94,869<br>(△96,569) | △100,725<br>(△95,948) | △98,538<br>(△88,526) | △100,725<br>(△95,948) |
|                            | 地方銀行 | 15,113<br>(11,989)   | 1,757<br>(5,163)      | 16,863<br>(11,191)   | 1,757<br>(5,163)      |
|                            | 相互銀行 | 3,937<br>(3,787)     | 4,941<br>(5,470)      | 2,154<br>(3,718)     | 4,941<br>(5,470)      |
|                            | 信用金庫 | 26,613<br>(21,191)   | 29,031<br>(23,335)    | 27,644<br>(22,486)   | 29,031<br>(23,335)    |
| 増<br>減<br>額                | 全国銀行 | 834<br>(△9,194)      | △21,194<br>(△6,915)   | 10,326<br>(15,530)   | △19,572<br>(△14,589)  |
|                            | 都市銀行 | △2,946<br>(△10,987)  | △5,856<br>(621)       | △2,667<br>(6,330)    | △2,187<br>(7,422)     |
|                            | 地方銀行 | 2,644<br>(1,113)     | △13,356<br>(△6,826)   | 14,959<br>(8,757)    | △15,106<br>(△6,028)   |
|                            | 相互銀行 | △753<br>(△619)       | 1,004<br>(1,683)      | 193<br>(613)         | 2,787<br>(1,752)      |
|                            | 信用金庫 | △522<br>(178)        | 2,418<br>(2,144)      | 687<br>(936)         | 1,387<br>(849)        |

(注) 1. 資金ポジションの定義。

全国銀行＝コール・ローン＋買入手形＋金融機関貸付金＋銀行引受手形(余資運用分)－借入金－コール・マネー－売渡手形

相互銀行＝コール・ローン＋買入手形＋金融機関貸付金＋銀行引受手形－借入金－コール・マネー－売渡手形

信用金庫＝コール・ローン＋買入手形＋金融機関貸付金＋全信連短資＋全信連預け金－借入金－コール・マネー－国債・政保債引当預け金

2. カッコ内は前年同期(月)。

3. 53年12月は速報値。

年6,028億円の悪化)。

一方、12月の中小企業金融機関の資金ポジションは、相互銀行、信用金庫とも前年を上回る改善を示した。

(貸出金利——低下幅は前月比拡大)

12月の全国銀行(銀行勘定)貸出約定平均金利は、月中－0.056%の低下と前月(－0.047%)比低下幅を拡大し、月末水準は5.945%と統計開始(26年3月)以来初めて6%台を割り込み、10か月連続既往最低を更新した(うち短期金利<月末水準4.710%>は14か月連続の既往ボトム更新)。この

結果、貸出約定平均金利の52年3月以降22か月間の通算低下幅は2.217%となり、第5～8次公定歩合引下げ幅(3%)に対する追従率は73.9%に達した。この間、中小企業金融機関の貸出金利も引き続き大幅に低下しており、相互銀行の12月中低下幅は0.090%と全国銀行の低下幅を7か月連続上回った。

このように各業態にわたって金利低下が続いているのは、都銀等では、決算・賞与資金年末決算資金等の比較的低利・短期の貸出が増加したことが主因である。一方、中小企業金融機関では、同様の事情に加え取引先からの利下げ要請をうけて金利水準自体の見直しがなお続いていることが響いている。

#### ◇株式市況は既往ピーク更新、公社債市場利回りは一段と上昇

1月の株式市況は、前月末来の地合いをうけて月中はば一貫して上伸した。すなわち、月初来から中堅優良株を中心に続伸したあと、中旬末にかけて一時利食い売りに下押す場面もみられたが、下旬に入ると事業法人、一部金融機関等を中心に再び買い意欲が盛上り、物色範囲も拡大した。この結果、東証指数は462.97(前月末449.55)と既往ピークを記録して越月した。この間、一日平均出来高は441百万株と前月(451百万株)に続き高水準となった。

1月の公社債流通市場をみると、市場利回りは月央に小幅低下する場面がみられたものの、通月では長期債を中心に一段と上昇した。すなわち、月前半はクーポンレート6.1%国債の新規上場価格が97円00銭と発行価格(99円50銭)を大幅に下回ったことがいや気され、投資家の買い控え姿勢が一層強まった。その後一時農林系統等機関投資家筋に値頃買いがみられたほか一部事業法人も非居住者の債券取得規制緩和期待から買い引合いを寄せたため、市場利回りは小幅低下した。しかしながら、下旬に入ると都地銀からの地方債、政保債等の売却がみられたことに加え、当月募集債の消化難航もあって一部証券会社が玉整理の動きを強

株 式 市 況 (東京市場・第1部)

|           | 株 価 指 数       |               |                 |                 | 予想平均<br>利 回 り | 1 日 平均<br>出 来 高 | 日 証 金<br>差 引 き<br>融 資 残 高 |
|-----------|---------------|---------------|-----------------|-----------------|---------------|-----------------|---------------------------|
|           | 東 証           |               | ダ ウ             |                 |               |                 |                           |
|           | 最 高           | 最 低           | 最 高             | 最 低             |               |                 |                           |
| 53年 4～6 月 | 417.27( 6/30) | 405.21( 4/ 3) | 5,555.84( 4/19) | 5,404.19( 5/19) | 1.46          | 284             | 1,105                     |
| 7～9 々     | 434.94( 9/30) | 416.45( 7/ 1) | 5,783.16( 9/30) | 5,480.77( 8/ 9) | 1.34          | 277             | 1,502                     |
| 10～12 々   | 452.60(12/13) | 432.23(10/12) | 6,092.85(12/ 9) | 5,727.91(10/13) | 1.34          | 411             | 1,388                     |
| 53年 10月   | 439.75( 30)   | 432.23( 12)   | 5,926.82( 30)   | 5,727.91( 13)   | 1.33          | 420             | 1,302                     |
| 11 々      | 442.11( 25)   | 436.41( 1)    | 5,989.76( 25)   | 5,872.42( 1)    | 1.34          | 364             | 1,359                     |
| 12 々      | 452.60( 13)   | 439.19( 23)   | 6,092.85( 9)    | 5,858.34( 23)   | 1.34          | 451             | 1,388                     |
| 54年 1 月   | 462.97( 31)   | 452.85( 4)    | 6,212.78( 31)   | 6,041.57( 4)    | 1.30          | 441             | 1,276                     |
| 53年12月上旬  | 451.30( 9)    | 444.57( 1)    | 6,092.85( 9)    | 6,002.74( 1)    | 1.32          | 601             | 1,356                     |
| 中 々       | 452.60( 13)   | 445.38( 18)   | 6,083.94( 14)   | 5,974.67( 20)   | 1.33          | 409             | 1,327                     |
| 下 々       | 449.55( 28)   | 439.19( 23)   | 6,001.85( 28)   | 5,858.34( 23)   | 1.34          | 324             | 1,388                     |
| 54年 1 月上旬 | 458.91( 6)    | 452.85( 4)    | 6,100.35( 10)   | 6,041.57( 4)    | 1.32          | 427             | 1,277                     |
| 中 々       | 460.15( 13)   | 457.94( 18)   | 6,123.64( 13)   | 6,106.13( 19)   | 1.31          | 368             | 1,256                     |
| 下 々       | 462.97( 31)   | 459.11( 22)   | 6,212.78( 31)   | 6,107.62( 22)   | 1.30          | 504             | 1,246                     |

(注) 1. 予想平均利回り、日証金差引き融資残高は、期・月・旬末。  
2. 予想平均利回りは山一証券調べ、全銘柄対象。  
3. 株価指数のカッコ内は最高・最低値の月日。

公 社 債 上 場 相 場 (東京証券取引所)

|                                | 国 債<br>(第9回債)                     | 政保債<br>(鉄道債)               | 地方債<br>(東京都債)              | 利 付<br>金 融 債<br>(3 銘柄<br>平 均) | 一 般 事 業 債                  |                            | 電力債<br>(7 銘柄<br>平 均)       | 加 入 者<br>負 担 利 付<br>電 々 債<br>(最近発行<br>5 銘柄<br>平 均) |
|--------------------------------|-----------------------------------|----------------------------|----------------------------|-------------------------------|----------------------------|----------------------------|----------------------------|--|
|                                |                                   |                            |                            |                               | A A 格 債<br>(12銘柄<br>平 均)   | A 格 債<br>(3 銘柄<br>平 均)     |                            |  |
| 償 還 年 月                        | 63/2                              | 58/4                       | 58/5                       | 55/10～<br>57/9                | 56/2～<br>61/10             | 57/5～<br>60/12             | 55/7～<br>62/4              | 63/3～<br>64/3                                      |
| 利 回 り<br>(%)                   | 53 年 11 月 末<br>12 々<br>54 年 1 月 末 | 6.401<br>6.409<br>6.494    | 6.351<br>6.302<br>6.266    | 6.410<br>6.359<br>6.318       | 5.470<br>5.423<br>5.433    | 7.388<br>7.377<br>7.323    | 7.530<br>7.527<br>7.517    | 7.094<br>7.056<br>6.981                            |
| 価 格<br>(円)                     | 53 年 11 月 末<br>12 々<br>54 年 1 月 末 | 101.15<br>101.10<br>100.60 | 101.20<br>101.35<br>101.45 | 102.40<br>102.55<br>102.65    | 105.93<br>105.90<br>105.70 | 106.26<br>106.26<br>106.40 | 106.68<br>106.63<br>106.57 | 105.39<br>105.49<br>105.71                         |
| 最 近 の 新 発 債<br>応 募 者 利 回 り (%) |                                   | 6.180                      | 6.240                      | 6.281                         | 6.200                      | ( 6.381)<br>6.436          | ( 6.482)<br>6.537          | ( 6.381)<br>6.436                                  |

(注) 事業債の発行条件は12年ものものと10年もの(カッコ内)の2本立て。

めたため、市場利回りは再び上昇した。

この間、債券の条件付売買レート(現先レート)をみると、主力事業法人からの買いが活発であったことから、短期物中心にかなりの低下を示した。

1月の増資(上場会社有償払込み分)は、275億

円と前年(339億円)を下回った。

1月の起債額(発行ベース、国債、金融債を除く)は政保債の増加を主因に全体で2,625億円と前年(1,860億円)を4割強上回った。一方消化状況をみると、既発債利回りが上昇を続けたため消化環境は一段と悪化し、事業債、地方債、政保債い

有 償 増 資 推 移(1・2部合計)

|         | 有償増資社数 |    | 有償増資資金調達総額 |       | うち額面払込み額 |     | プレミアム額 |       |
|---------|--------|----|------------|-------|----------|-----|--------|-------|
|         | 前年     | 前年 | 前年         | 前年    | 前年       | 前年  | 前年     | 前年    |
| 53年     | 社      | 社  | 億円         | 億円    | 億円       | 億円  | 億円     | 億円    |
| 7～9月    | 74     | 94 | 2,401      | 1,539 | 677      | 384 | 1,724  | 1,155 |
| 10～12ヶ月 | 57     | 87 | 1,737      | 1,512 | 253      | 490 | 1,484  | 1,022 |
| 53年11月  | 23     | 46 | 417        | 943   | 123      | 312 | 294    | 631   |
| 12ヶ月    | 16     | 20 | 476        | 326   | 53       | 104 | 423    | 222   |
| 54年1月   | 7      | 17 | 275        | 339   | 39       | 292 | 236    | 47    |

いずれも前月に続いてかなりの募集残が発生した模様である。

1月の転換社債、円建外債は、いずれも起債ゼロとなった(前月各、2銘柄120億円、3銘柄850億円)。

1月の新規中・長期国債発行額(額面ベース)は、6,820億円(うち長期利付国債6,000億円、中期割引国債820億円、いずれもシ団引受)と前年同月(7,651億円)を1割強下回った。このうち証券会社取扱いに係る一般募集分の消化状況をみると、長期利付国債の募集額は600億円(前月1,150億円)と51年4月(550億円)以来の低水準となったが、既発債市況が軟化を続けたため売れ残りが生じた模様であり、また中期割引国債(発行額820億円全額を一般募集)の売行きも不振であった。

1月の金融債発行額(純増ベース)は、利付債の増加を主因に2,411億円と前年(1,987億円)を2割強上回った。これには、前年の純増額が多額の償還から低水準であったことが響いており、金融債の発行地合いは引き続き低調である。

起 債 状 況

(単位・億円、カッコ内純増額)

|          | 53年                |                    | 53年                |                   | 54年              |
|----------|--------------------|--------------------|--------------------|-------------------|------------------|
|          | 7～9月               | 10～12月             | 11月                | 12月               | 1月               |
| 事業債      | 3,370<br>(1,053)   | 3,567<br>(1,244)   | 1,347<br>(598)     | 1,240<br>(489)    | 920<br>(399)     |
| うち電力     | 1,900<br>(817)     | 2,495<br>(1,388)   | 795<br>(440)       | 1,100<br>(719)    | 860<br>(519)     |
| 一般       | 1,470<br>(236)     | 1,072<br>(144)     | 552<br>(158)       | 140<br>(230)      | 60<br>(120)      |
| 地方債      | 1,710<br>(1,427)   | 1,790<br>(1,523)   | 540<br>(452)       | 665<br>(568)      | 590<br>(489)     |
| 政保債      | 3,420<br>(2,496)   | 3,520<br>(2,464)   | 1,050<br>(651)     | 1,520<br>(1,162)  | 1,115<br>(818)   |
| 計        | 8,500<br>(4,976)   | 8,877<br>(5,337)   | 2,937<br>(1,807)   | 3,425<br>(2,219)  | 2,625<br>(1,706) |
| 金融債      | 26,270<br>(5,423)  | 30,043<br>(7,987)  | 8,570<br>(1,719)   | 14,676<br>(3,613) | 8,867<br>(2,411) |
| うち利付     | 9,335<br>(4,341)   | 10,564<br>(4,692)  | 3,134<br>(1,179)   | 3,676<br>(1,995)  | 3,456<br>(1,679) |
| 新規中・長期国債 | 24,784<br>(24,784) | 30,536<br>(30,536) | 16,524<br>(16,524) | 4,000<br>(4,000)  | 6,820<br>(6,820) |
| うち証券会社引受 | 6,384              | 2,880              | 1,530              | 1,150             | 1,420            |
| 転換社債     | 755                | 965                | 345                | 120               | 0                |